

|                         |                    |                     |  |                          |
|-------------------------|--------------------|---------------------|--|--------------------------|
| 事業番号                    | 15 06 02           | 事業改善シート(令和元年度実施事業分) | <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |                          |
| 事業名                     | 人権教育推進事業費          |                     | 部局   | 教育委員会事務局                 |
|                         |                    |                     | 課・室  | 心の支援課                    |
|                         |                    |                     | 実施期間   | S33 ~                    |
|                         |                    |                     | E-mail   | kokoro@pref.nagano.lg.jp |
| 総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0) |                    |                     |  |                          |
| 8つの重点目標                 |                    |                     |  |                          |
| 総合的に展開する重点政策            | 5-1多様性を尊重する共生社会づくり |                     |  |                          |

### 1 事業の概要

|                   |  |
|-------------------|--|
| 事業の現状・目指す姿(予算編成時) | <b>【現状】</b><br>様々な人権課題の解決や人権を尊重する社会の構築が求められるなか、人権意識や人権に関する正しい知識と指導力を持った教員及び地域の人権教育リーダーの育成が求められている。   |
|                   | <b>【目指す姿】</b><br>県民一人ひとりが人権の意義・内容や重要性について理解し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようになる。 |
|                   | <b>【実施内容】</b><br>・学校における人権教育推進のため、人権教育ファシリテーター研修会、人権教育担当者研修会等を開催<br>・地域における人権教育推進のため、社会人権教育研究協議会、社会人権リーダー研修会等を開催<br>・子どもの自殺予防のため、ワークショップを実施等   |
|                   |  |

| 指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし] |                               |       |         |         |       | 事業コスト | 区分(単位:千円) | H30年度  | R1年度   |        |        |
|-------------------------------|-------------------------------|-------|---------|---------|-------|-------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| No                            | 成果指標                          | H29年度 | H30年度   | R1年度    | 目標値   |       | 達成状況      | 前年度繰越  | 0      | 0      |        |
| 1                             | 義務教育9年間における人権教育総学習時間(単位:時間/人) | 190   | 200 ↗   | 213 ↗   | 190   |       | 達成        | 予算額    | 現計予算   | 10,063 | 13,437 |
| 2                             | 公民館等が実施する人権教育研修会等の数(単位:回)     | 4,019 | 3,810 ↗ | 3,843 ↗ | 3,600 |       | 達成        |        | 合計(A)  | 10,063 | 13,437 |
| 3                             | 子どもの自殺予防のためのワークショップ等受講者数      | -     | -       | 668人    | 700人  |       | 未達成       |        | うち一般財源 | 8,363  | 8,327  |
| 4                             |                               |       |         |         |       |       |           | 決算額(B) | 6,691  | 9,829  |        |
|                               |                               |       |         |         |       |       | 職員数(人)    | 11     | 11     |        |        |

|          |  |
|----------|--|
| 成果指標設定理由 | ①人権課題別研修等を受講した教員が、学校における人権教育推進体制を整え、授業における人権学習を着実に推進してもらうため、成果目標に設定<br>②地域において研修会等を企画・実施することにより、地域住民が人権課題に関する理解と認識を深めるため、成果目標に設定<br>③子どもの相談力とおとなの気づきの感度の向上を図るワークショップの受講が自殺予防につながることから、受講者数を成果目標に設定 |
|----------|--|

|         |  |
|---------|--|
| 達成状況の分析 | ①課題別の研修等を受講した教員が、各学校において人権教育学習を実施したため。<br>②社会人権リーダー研修会等の受講者が地域における人権教育研修会等を企画・実施したため。<br>③予定どおりワークショップは実施したが、受講予定者のうち、保護者の参加が少なかったため、目標値に達しなかった。 |
|---------|--|

|      |   |
|------|---|
| 主な取組 | <b>✓人権教育担当教員の人権感覚の高揚と指導方法についての理解を深める研修</b><br>・人権教育担当教員を対象とした学校人権教育研修会の開催<br>・学校人権教育の推進役・指導役を対象とした人権教育ファシリテーター研修会の開催  |
|      | <b>✓地域における人権教育を推進する「地域の人権リーダー」を育成する研修</b><br>・地域ごとに人権課題について協議する社会人権教育研究協議会の開催<br>・地域の人権教育リーダーの資質向上を図る社会人権教育リーダー研修会の開催 |
|      | <b>✓地域における学習会の開催や実践的指導法の調査研究への支援</b><br>・人権問題をテーマとした学習講座等を実施する市町村への補助<br>・推進地域、指定校の実践的指導法に関する調査研究への支援                 |
|      | <b>✓子どもの自殺予防等のためのワークショップの実施</b><br>・高校生・教員・保護者等を対象としたワークショップを実施   |



### 2 今後の事業の方向性

|                    | 課題等  | 今後の方向性  |
|--------------------|--|---|
| 今後、事業をどのようにしていきたいか | <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人権課題の中で、教員が同和教育について学ぶ時間が少なくなっており、研修の在り方が課題。</li> <li>社会人権教育リーダーが、地域において主体的に研修会等を計画できるようにしていくことが課題。</li> <li>長野県の未成年者の自殺死亡率は依然として高いことから、子どもの相談力の向上と相談しやすい環境づくりが課題。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>同和教育の研修講師をリスト化するとともに、いじめや不登校等身近な課題と同和教育を関連付けて学ぶワークショップを企画するなど、研修内容を工夫。</li> <li>先進的な取組を行っている社会人権教育リーダーの活動や参考となる他の地域の取組について紹介するなど、リーダーの主体性や実践意欲を高める研修の実施。</li> <li>ワークショップ形式の講習を、県立高校及び特別支援学校において引き続き実施。</li> </ul> |

事業番号 15 06 02 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

|     |           |    |          |     |       |
|-----|-----------|----|----------|-----|-------|
| 事業名 | 人権教育推進事業費 | 部局 | 教育委員会事務局 | 課・室 | 心の支援課 |
|-----|-----------|----|----------|-----|-------|

| 細事業 No. | 細事業名            |      | H30年度<br>決算   | R1年度<br>決算  |
|---------|-----------------|------|---|-------------|
| 1       | 学校人権教育推進事業費     |      | 1,829<br>千円   | 4,061<br>千円 |
| No.     | 細事業を構成する主な取組    | 実施方法 | 令和元年度 実施内容(実績)  |             |
| 1       | 学校人権教育研修会       | 直接   | 学校における人権教育推進のため、教職員向けの研修会等を実施<br>・人権教育ファシリテーター研修会（1会場）<br>・人権教育担当者研修会（県下5か所）<br>・ブロック別研修会（県下11か所） |             |
| 2       | 人権教育講師派遣事業      | 直接   | いじめ・暴力・LGBT等で苦しんだ経験を持つ方を講師として学校に派遣（71校）   |             |
| 3       | 啓発事業            | 直接   | 児童生徒の人権課題への関心を高め、意識の高揚を図るため、人権をテーマとするポスターを募集、優秀作品を表彰  |             |
| 4       | 自殺予防のための相談力向上事業 | 直接   | 高校生、保護者、教員を対象としたワークショップを実施（県立高校3校、特別支援学校6校）   |             |

| 細事業 No. | 細事業名         |      | H30年度<br>決算  | R1年度<br>決算  |
|---------|--------------|------|--|-------------|
| 2       | 社会人権教育推進事業費  |      | 4,862<br>千円  | 5,768<br>千円 |
| No.     | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和元年度 実施内容(実績)   |             |
| 1       | 社会人権教育推進事業   | 直接   | 地域における人権教育推進のため、研究会、会議、研修会を実施<br>・社会人権教育研究協議会（5か所）<br>・社会人権教育リーダー研修会（全体研修会：2か所、実践力スキルアップ講座：5か所）<br>・地域の人権教育ネットワーク整備事業（5か所）<br>・人権教育指導方法等研究会（年4回） |             |
| 2       | 人権教育促進補助事業   | 補助金  | 人権に関わる様々な問題をテーマとした学習講座等を実施する市町村や市町村教育委員会に補助金を交付（補助率1/2）  |             |
| 3       | 人権教育研究推進事業   | 委託   | 地域や学校における実践的な指導方法の調査研究を4市町村（教育委員会）に委託して実施  |             |